

## 第1回半田市議会定例会総務委員会委員長報告書

当総務委員会に付託された案件については、2月25日午後3時から、全員協議会室において、委員7名出席のもと慎重審査しましたので、その経過と結果をご報告申し上げます。

初めに、議案第1号中、当委員会に分割付託された案件については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

財政調整基金に積み立てをする一方で、それを取り崩してまで事業を実施する明確な理由はなにか。とに対し、

財政調整基金を取り崩して実施する事業は、七本木池公園整備事業であり、当基金に積み立てていた市民ホール跡地の売却益を財源に充てるものです。とのこと。

国の緊急経済対策事業の対象として、半田赤レンガ建物整備事業を選定した理由はなにか。とに対し、

当事業を平成25年度に予定通り実施した場合、交付決定が遅くなるため、国の補正予算に合わせ、前倒しして平成24年度に実施するものです。とのこと。

40トン型耐震性貯水槽新設事業について、当初、国庫補助が不採択となった理由はなにか。また、計画の見直し状況はどのようになっているのか。とに対し、

40トン型及び100トン型耐震性貯水槽新設事業については、新たに提示された補助対象要件である財政力指数0.5以下の自治体に該当しないため、不採択となりました。しかし、このたびの臨時交付金の対象に該当したため、3か年実施計画で計上している100トン型耐震性貯水槽4基を前倒しして、今回の補正予算に計上し、施工してまいります。今後は、40トン型耐震性貯水槽8基を、避難場所となる児童遊園などに施工してまいります。とのことでした。

その後、討論を省略し、採決した結果、出席委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第6号については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

タワー式駐車場の損傷以外に、減収の要因はないのか。とに対し、  
その他の減収の要因は、大口利用をしていた企業が、自社専用駐車場を整備したことなどにより、全日定期券の売り上げが約42万円、一日駐車券の売り上げが約900枚減少したこと、また、はんだ山車まつり関係のイベント等が雁宿ホールで開催されず、見込んでいた収入が得られなかったことなどです。とのことでした。

その後、討論を省略し、採決した結果、出席委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第7号及び議案第11号の2議案については、それぞれ補足説明の後、慎重審査し、討論を省略し、それぞれ採決した結果、2議案とも、出席委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

以上、ご報告申し上げます。